都市公園リノベーション計画（播磨中央公園）

別紙２

現状と課題

・「さいくるらんど」や「桜の園」「ｽﾎﾟｰﾂ施設」等年間約 40 万人の利用で堅調
・課題として、
①老朽化し利用頻度が低下した野外ｽﾃｰｼﾞの撤去とﾆｰｽﾞに合わせた機能転換
②園路への自転車乗り入れや、散策ｺｰｽの多様化などの要望への対応
③宿泊・飲食等利用者の裾野拡大
④花みどり施設、遊具、ﾄｲﾚの更新

■直近5年間の来園者（単位：千人）

	H27	H28	H29	H30	R1
来園者	440	414	400	422	460
野外ｽﾃｰｼﾞ	12	11	11	12	12
さいくるらんど	108	92	95	84	91
桜の園、ばら園	33	46	34	51	58
ｽﾎﾟｰﾂ施設	16	15	11	9	9
散策等	273	250	249	266	290

委員意見

①さいくるらんどの集客を生かし、地元のｻｲｸﾙﾂｰﾘｽﾞﾑとも連携した施設整備を。
②健康づくりの散策やｼﾞｮｷﾞﾝｸﾞ、ﾄﾚｲﾙﾗﾝﾆﾝｸﾞ需要が増えており、全世代が楽しめる園路の充実やｺｰｽの多様化が必要。
③ばら園に子ども向け花壇を整備し、中高年世代との交流を進めたい。
（景観・園芸学校が協力）
④ﾃﾚﾜｰｸも含め Wi-fi 環境は必須。

関係者意見

■地元ボランティア等
・新たな施設を作るのであれば、家族で楽しめ、かつ、全国大会も開催可能なｸﾞﾚｰﾄﾞで整備して欲しい。
・遊具は幼児や低学年向けが不足しているので充実して欲しい。
・ばら園ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰはﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動拠点として改修して欲しい。

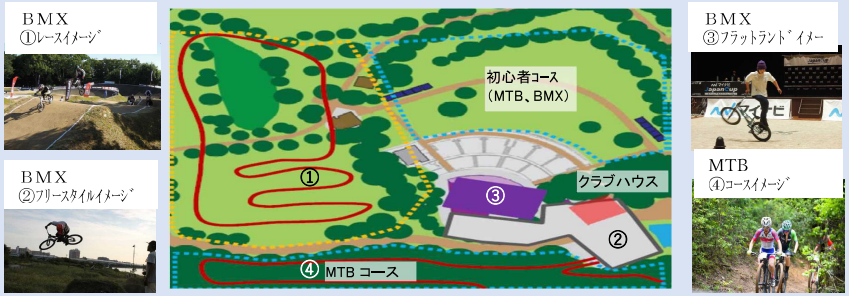
■（一社）全日本 BMX 連盟代表理事
・国内に BMX３種目が揃った施設は無く、全日本級の大会が誘致できる。
・さいくるらんどの子どもたちをｻｲｸﾙｽﾎﾟｰﾂに誘導できるのは魅力的。

■現役選手（全日本選手権出場）
・BMX や MTB の様々な種目が一箇所に揃うことでﾄﾚｰﾆﾝｸﾞの場として最適。
・選手の合宿に加え、好奇心旺盛な子どもの練習場所にも向いている。

テーマ　初心者から競技者まで対応した誰もが楽しめるサイクルスポーツの拠点整備

1 自転車を活用した魅力向上

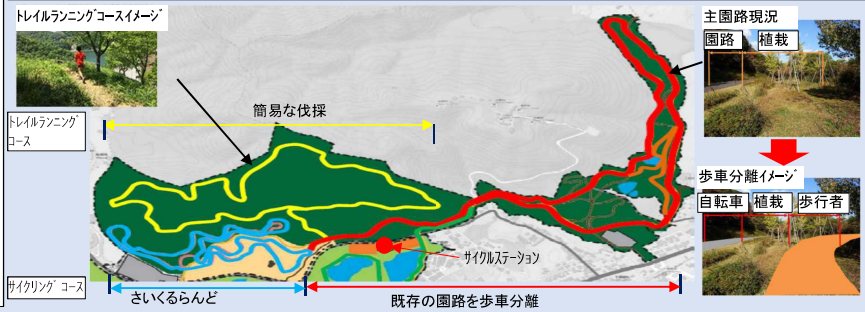
○はりちゅうローラースポーツパーク（仮称）の整備
・野外ｽﾃｰｼﾞを撤去し、国内唯一となる BMX3 種目や MTB などが楽しめる総合施設を整備



①ﾚｰｽ　＜2004 年北京五輪～＞ 複数のｼﾞｬﾝﾌﾟやｺｰﾅｰを配した未舗装のｺｰｽで走行ﾀｲﾑを競う
②ﾌﾘｰｽﾀｲﾙ ＜2020 年東京五輪～＞ 舗装された広場で様々なｻｲｽﾞのｼﾞｬﾝﾌﾟ台を使い技を競う
③ﾌﾗｯﾄﾗﾝﾄﾞ＜2024 年パリ五輪～＞ 平らな場所で回転したり、ﾊﾞﾗﾝｽをとるなどの技を競う
④MTB　＜1996 年ｱﾄﾗﾝﾀ五輪～＞ｱｯﾌﾟﾀﾞｳﾝのある未舗装の山道を利用してﾀｲﾑを競うｱｳﾄﾄﾞｱｽﾎﾟｰﾂ

2 健康づくり（ﾊﾟｰｸﾌｨｯﾄﾈｽ）

○自転車ﾛｰﾄﾞﾚｰｽやﾄﾚｲﾙﾗﾝﾆﾝｸﾞ等に対応した園路整備
・園内で安全かつ快適に走行でき、全国規模の大会も開催可能なｻｲｸﾘﾝｸﾞｺｰｽの整備
・地形を生かし森の中のｱｯﾌﾟﾀﾞｳﾝや眺望が楽しめるﾄﾚｲﾙﾗﾝﾆﾝｸﾞｺｰｽの整備



3 一日中過ごせる公園の実現

○宿泊（ｸﾞﾗﾝﾋﾟﾝｸﾞ、ｺﾃｰｼﾞ、ｵｰﾄｷｬﾝﾌﾟ等）や飲食（ﾚｽﾄﾗﾝ等）施設整備【民間】
・大都市圏から1時間の好立地を生かし、家族利用やｻｲｸﾙﾂｰﾘｽﾞﾑ等の需要に対応

4 既存ストックの魅力向上

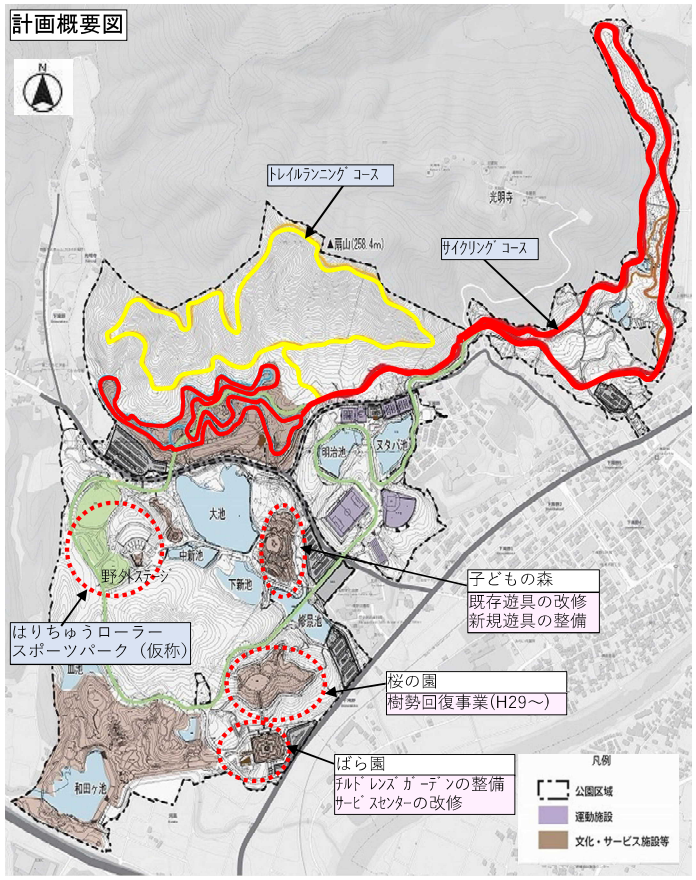
○花みどり
・桜の園　樹勢回復事業（H29～R4）
・ばら園　ﾁﾙﾄﾞﾚﾝｽﾞ・ｶﾞｰﾃﾞﾝの整備、ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰの改修

○遊具
・既存遊具の改修（全 13 箇所 R2～R3）
・幼児低学年向け（複合遊具）、ｸﾗｲﾐﾝｸﾞｳｫｰﾙなどの新規遊具整備

○ﾌﾘｰ Wi-fi 環境の整備

○SL の撤去
※加東市所有。撤去は加東市議会等承認済。

計画概要図



		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
はりちゅうローラースポーツパーク（仮称）		野外ｽﾃｰｼﾞ撤去 / 実施設計		施設整備工事				
園路（サイクリングコース含む）		設計 / 園路工事	ﾌﾟﾚｵｰﾌﾟﾝ					
花みどり	桜の園	桜の園樹勢回復事業（H29～）						
	ばら園		ばら園ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰの改修 / ﾁﾙﾄﾞﾚﾝｽﾞ・ｶﾞｰﾃﾞﾝ整備					
遊具		既存遊具の改修(R2～)	新規遊具整備					
トイレ		既存トイレの改修(全17箇所R1～)						
宿泊・飲食施設						公募	整備	